

■ 齋藤月岑(幸成) 祖父が企画、父が固めた「江戸名所図会」を完成・出版後、「武江年表」ほか記録編纂、詳細な日記も遺した。
さいとうげっしん
いざな来航・1804 = 江戸神田雑子町に生まれる。父齋藤市左衛門幸孝、母ひさ。家は代々神田雄子町の町名主。

浮世床・・・1813 = 9歳：

兄3人が早世していたため、

水野忠成老中1818 = 14歳：父が死去すると、すぐに町名主職を世襲して市左衛門を称し、元服して幸成を名乗るとともに、祖父幸雄以来の事業であった「江戸名所図会」を世に出すべく辛苦、

英船浦賀来航1822 = 18歳：

日常の町名主としての公務は訴訟・異変の改、火元の取締・消防、人別調、宗門改、出版許可、不動産登記・質入その他の証文の奥書加印、町触の伝達など町人生活のほとんど全部にわたり多忙をきわめたが、銀町の日尾荊山の私塾至誠堂に入門して漢学を修め、上田八蔵に国学を学び、谷口月窓に絵画を学び、広範囲にわたる文化活動を展開、文人名主としても著名になりながら、

富籤流行・・・1830 = 26歳：*ようやく出版の目途がつき、詳細な日記をつけ始める。

富嶽三十六景1831 = 27歳：

高島砲術・・・1834 = 30歳：*「江戸名所図会」をついに完成し、初秩10冊を刊行、

書肆須原屋が火災に遭ったため、1年遅れて、

・・・1836 = 32歳：*後秩を刊行した。続けて「拾遺江戸名所図会」の出版を企図するとともに、多方面に関心を募らせ、

大塩平八郎乱1837 = 33歳：

適塾オープン・1838 = 34歳：_「東都歳時記」を刊行、

勸進帳初演・1840 = 36歳：

「弘化勸進能興行絵巻」、

阿部正弘首座1845 = 41歳：

・・・1847 = 43歳：「声曲類纂」を刊行、

・・・1848 = 44歳：_翌々年にかけて1590年からこの年までの諸事を記した「武江年表」を刊行、

北斎没・・・1849 = 45歳：

万次郎帰国・1852 = 50歳：「武江年表」続編に、この年、神田で大工の飼猫が子鼠を自分の子猫とともに養育したと記されている。

ペリー来航・1853 = 49歳：

安政大地震・1855 = 51歳：_安政大地震の状況を詳細に記録した「安政乙卯武江地動之記」「東都地震記」、

五ヶ国条約・1858 = 54歳：

桜田門外変・1860 = 56歳：

大政奉還・・・1867 = 63歳：

明治維新・・・1868 = 64歳：

明治6年政変 1873 = 69歳：_さらに「武江年表」続編には、この年までのことが記載され、刊行は没後になるが、

初の民間工場1875 = 71歳：*この年までの「齋藤月峯日記」(36冊)など全てが、後世の学術に大きく貢献することになる。

三つの内乱・1876 = 72歳：

大久保暗殺・1878 = 74歳：_没した。

ほかに「大江戸絵馬集」「江戸名主鑑編」「睡余操触編」「東都歳事記編」「扶桑探勝図(10巻)」など多数。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「江戸・東京を造った人々」、